

学校だより

第49号 ひたちなか市立勝倉小学校

令和6年3月28日(木)発行

〒312-0024 ひたちなか市勝倉3010

TEL 029-272-2546 FAX 029-273-1986



児童数313名 実家庭数 241戸

卒業式

令和5年度 第77回卒業式が、3月19日(火)に本校体育館において行われました。

ご来賓としてPTA会長の 様、各自治会長の皆様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、厳粛かつ盛大に挙行することができました。また、在校生を代表して、4、5年生が式に参加しました。卒業生の返事、卒業証書の受け取り方、呼びかけ、歌…と実に素晴らしかったです。呼びかけは、4、5年生も参加し、6年生への感謝と激励の気持ちをはっきりとした声に込められ、たいへん立派でした。多くの方々と卒業を祝うことができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。退場の時の担任への感謝のメッセージ。感動しました。49名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございました。



卒業式次第(司会進行 教務主任)

開式のことば(教頭)

国歌斉唱(体育館に集うみんなで歌いました)

卒業証書授与(小学校の全課程を修了したことを証する)

卒業式辞(一部抜粋)

皆さんは、担任の先生、先生とともに学級目標である、「笑顔、協力、はじめ、意見を言える 六年一組」「仲間の絆 終わらねえ」を目指して 仲間と共に取り組んでいました。様々な行事において、実行委員を中心に、誰もが主役で活躍しました。さらには、学校のトップリーダーとして、よりよい勝倉小学校にするために様々なアイデアを出し、それを実践していく皆さん、いつも感心していました。一組も二組もたいへん素晴らしいクラス、たいへん素晴らしい学年となつて、本日卒業の日を迎えました。

さて、皆さんと過ごした二年間、様々な思い出が浮かんで来ます。中でも心に残っているのは、五年生の時に一緒に行った宿泊学習。寒さの厳しい真冬に実施しましたが、皆さんと作ったカレールーは、たいへん美味しく最高でした。六年生では、日光遠足。みなさんのきらきら輝く笑顔に包まれ、楽しく心温まる素敵な一日を過ごすことができました。急な雨に見舞われましたが、その時に皆さんの優しさを肌で感じた。温かかったです。さらに、校内陸上記録会。友達を応援する姿が、実に温かかったです。その応援に長先生ありがとうのサプライズ。心が嬉しかったです。未来に向かう希望に満ちた皆さんの表情に胸が熱くなりました。皆さんの感謝の気持ちに胸がいっぱいになりました。「感謝に敵なし」という言葉があります。皆さんが、今日この卒業を迎えるまでに、家族はもちろぬ指導くださいました。とても受けて取りがちな、励ましてくださる気持ちは、当然のこととして受けて取りがちな、励ましてくださることを決して忘れてはいけません。感謝することは、苦勞のあつせんから、温かな人間関係を築きます。どうぞ、「感謝の気持ち」を忘れずに、温かな人間関係を築きます。どうぞ、「感謝の気持ち」を前向きに、夢をもち、どんな困難に対しても背を向けることなく、活向きに、夢をもち、どんな困難に対しても背を向けることなく、心が、弟子たちに残したと言われている言葉を贈ります。「大丈夫、心配するな。何とかなる。」

来賓祝辞(PTA会長 様)市長メッセージ(教頭代読)

来賓紹介(お一人ずつ励ましのお言葉をいただきました)

卒業記念品授与(市より卒業証書フォルダをいただきました。卒業生の心を)

別れのことば(卒業生はステージの前に並び、四、五年生と向き合いました。呼びかけは、四、五年生も参加しました。卒業生)

の合唱「旅立ちの日に」卒業生の心のこもった歌声が会場に集

う者の心に響きました)

保護者代表挨拶(様)

校歌斉唱(一緒に歌う最後の歌声が体育館に響き渡りました。)

閉式のことば(教頭)

の合唱「旅立ちの日に」卒業生の心のこもった歌声が会場に集う者の心に響きました)



【卒業生の教室 黒板には、担任からのメッセージが書かれていました。】



【式場で記念写真を撮った後に、教室でも卒業生と担任とで記念撮影】



【お見送り；卒業生は、保護者の方と並んで歩きました】

保護者の皆様におかれましては、お子様が立派に小学校を卒業されますこと、心よりお祝い申し上げます。卒業という節目を迎え、これまでのご苦労も大きな喜びに変わり、感激もひとしおのものがあるかと存じます。どうぞ、これからも子供たちに寄り添い、温かく見守っていただきたいと思います。きっと、自分の力で、歩むべき道を切り拓いていくものと信じております。この6年間、本校の教育活動に対しまして数々のお力添えをいただきましたことを全教職員とともに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。